

## 自分から行動するということ

社会福祉学部保健福祉学科 2年 西尾 真由子

活動先：NPO 法人 ひだまり

クラス：野尻 紀恵 先生

### 1. SL を通しての自分の成長と気づき

私は、サービ斯拉ーニングの活動を通して、多くのことを学び、成長することができた。実際にひだまりの活動に関わらせていただき、事前学習、準備することの大切さ、自分たちで企画し、実行することの難しさを感じることができた。また、NPO の役割や特徴を理解することができ、NPO がどのようなものなのか知ることができた。

私は、サービ斯拉ーニングを受講する前は、NPO について何も知らなかった。NPO について興味はあったものの、具体的に地域でどのような役割を果たしているのか、地域とどのように関わり、繋がっているのか分からなかった。実際に自分の目で現場を見て、活動に関わり、また職員の方の話聞くことで、理解することができた。地域のニーズがあるからそれらのミッションの達成のために NPO があり、だから地域と繋がっているのだと分かった。そのため地域のニーズによって NPO も変わってくるのだと感じた。また地域と NPO 同士が協力し、助け合っていることも分かった。お互いに支え合い、協力できることは協力する。お互い様の精神を持ち、ニーズに応じて自分たちにできることをする。これが NPO の良いところであり、NPO にしかできない魅力であると感じた。

ひだまりでは、様々な活動を行っており、デイサービス、喫茶ひだまりなどで活動させていただいた。主にデイサービスでの活動が中心で、自分たちの企画もデイサービスでやらせていただいた。まず、利用者に工作をしてもらおうと、かざぐるまやけん玉作りを行った。工作が続いたため疲れてしまったのか、利用者の中には私たちに作業を任せてしまう方もいて、どう対応したらいいか分からなかった。私はどうにかして利用者の方に作ってもらいたいと思い、一緒に作るよう促してしまった。しかし、後になって利用者の気持ちを考えていなかったと気づき、反省した。利用者主体で考え、臨機応変に対応していくことが大切だと感じた。その方の気持ちを大切に、その方に合ったことをしてもらえば良いのだと学ぶことができた。また、あらかじめ利用者が作りやすいように工夫し、準備したつもりであったが、作業の中にはまだ難しい部分があり、なかなか上手く作業できない利用者もいた。しっかり準備したつもりであっても不十分であった。利用者視点で考え、事前準備をすることの大切さを学んだ。

また、デイサービスにて夏祭りを行おうと企画した。昼食時には、流しそうめんをやろうと考えた。しかし、活動先の方との打ち合わせ不足が原因で、夏祭り当日に活動先の方との考え方の違いが生じてしまい、当日に慌て、変更点も出てしまった。なんとか職員の方の力を借り、成功させることはできたが、職員の方々に迷惑をかけてしまった。基本的な報告、連絡、相談ができていなかった。自ら動き、活動先の方ともっと話し合うべきだった。打ち合わせをし、確認しておくことと、また、分からないことはすぐに聞くということが大切だと感じた。

全体の活動を振り返ってみると、積極的に行動することが必要だと感じた。NPO につい

て学ぶためにも、企画を立て、実行するにしても自ら動くことが大切だと学んだ。事前訪問の時や活動の初めの頃は、活動先の方と話していても自分から発言することは少なく、消極的であった。また、自分から学ぶ努力をすることが大切だと感じた。NPOの知識がなく活動してしまったため、自分の意見も言えなかった。事前学習が足りなかったと反省した。事前学習をしていれば、自分の意見や考えも深めることができ、さらに良い活動になったと考える。企画を実現させるためには、自分で動かなければならない。6日間の活動の中で少しずつだが、積極的に行動できるようになった。しかし、もっと早く気がついていれば夏祭りも問題が起こらずに上手くいったと思う。知識を増やすためには、現場に出るためには積極性が必要であると学んだ。活動する中で、積極的に行動する大切さが分かり、以前より少し身についているように感じる。活動で学んだことを今後の実習や現場で生かしていきたい。

## 2. 活動を通して見えてきた地域活動や社会活動

ひだまりでは、デイサービスを始め、喫茶の運営、絵手紙教室、介護保険事業など様々な活動をしている。高齢者だけではなく、障害児者とその保護者、地域の方々と幅広い事業を展開している。実際にデイサービス、喫茶での活動、また地域について知るために街歩きなどもさせていただき、地域とNPOの繋がりを理解することができた。そこで地域のニーズがあるからNPOがあり、そのニーズに応じていくのだと知ることができた。現在、ひだまりでは、新たに障害児者とその保護者のニーズに応えるために、障害者自立支援を目指し、活動できるよう力を入れている。そのような地域住民のニーズを把握し、地域住民との繋がりを大切にニーズに応じていくことが、今後の地域活動や社会活動に必要であると考えられる。地域と繋がっていくことは、ニーズを知ることにつながる。すでに行われている地域活動はもちろん、今後に必要な地域活動のためにニーズを把握することは大切だと考える。地域と繋がった、その地域に合った地域活動や社会活動が広まっていったら良いと感じる。